

Ⅱ 各地域管理経営計画（案）の概要

越前森林計画区

1 森林計画区の概況

越前森林計画区の国有林野29,117haは、多くが大日山系及び加越山系、九頭竜川上流部の九頭竜湖周辺や越美山地に位置しています。



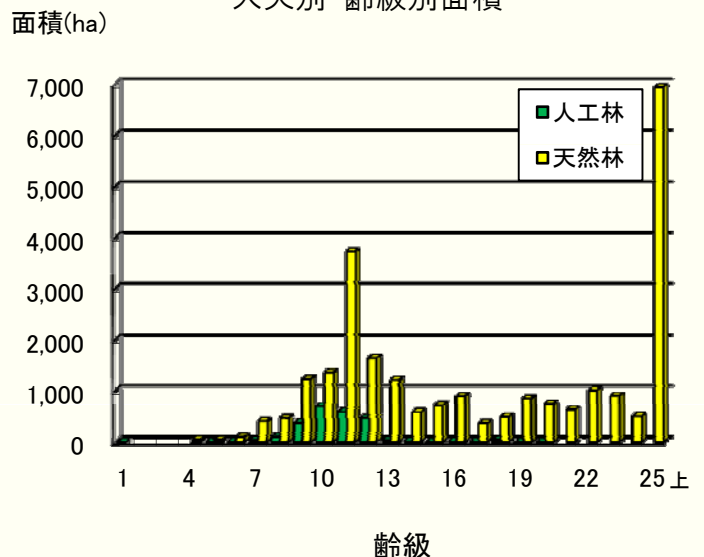
森林計画区内の森林面積に占める国有林野の割合は13%ですが、国有林野面積の98%が水源かん養保安林に指定されており、下流部の水源として重要な役割を担っています。

森林資源のうち天然林は、国有林野面積(林地)の91%を占め、全区域に広く分布しており、樹種別にはブナ、ミズナラが25%を占めています。また、人工林は9%を占め、樹種別にはスギが64%であり、生育は中庸以下であることから木材生産に適さない林分も多く、針広混交林への誘導を図り、公益的機能を発揮することが求められています。

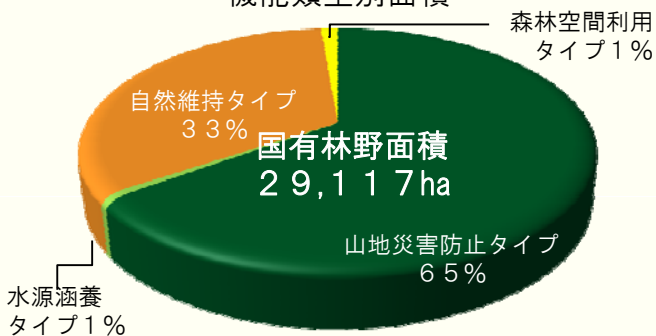
国有林・民有林別森林面積



人天別・齢級別面積



機能類型別面積



注・各データは、平成27年現在。

・齢級とは、5年をひとくりにし、林齢1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、以下、3齢級、4齢級と続く。

2 主要事業

地球温暖化防止をはじめとする森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、597ha（43千㎡）の間伐を実施し、間伐材の有効利用に努めるとともに、4ha（2千㎡）の主伐を実施し木材の計画的な供給に努めます。

| 種 類 | | 新 計 画 | 現 計 画 |
|------|-------|-----------------|-----------------|
| 伐採総量 | 主 伐 | 4ha (1,550㎡) | 5ha (1,483㎡) |
| | 間 伐 | 597ha (42,521㎡) | 587ha (30,858㎡) |
| 更新総量 | 人工造林 | 4.43ha | — |
| | 天然更新 | 15.76ha | 3.71ha |
| 保育総量 | 下 刈 | 13.59ha | — |
| | 除 伐 | — | — |
| 林道事業 | 開 設 | 2,540m | 7,780m |
| | 改 良 | 150m | 95m |
| 治山事業 | 保全施設 | 27箇所 | 23箇所 |
| | 保安林整備 | 266.92ha | 146.14ha |

注・主伐とは、利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり伐採した後に更新を行う。

・間伐とは、育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。

・更新とは、伐採等により樹木がなくなった箇所において、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が替わること。

・除伐とは、育てようとする樹木の生長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

3 国有林野の維持及び保存に関する事項

保護林

希少個体群保護林において生息環境整備を行うなど適切な取組を進めるとともに、農林水産省及び環境省が定めた保護増殖事業計画に基づき実施する希少個体群保護林においては、ヤシャゲングロウの生息状況調査、水質悪化防止の措置を行うなど環境行政との緊密な連携に努めます。



| 区 分 | 名 称 | 特徴等 | 国有林名 (市町村) | 面 積 (ha) |
|----------|----------------------------|-----------------------------|------------|----------|
| 希少個体群保護林 | 入谷ブナ・ミズナラ・ヒノキ等遺伝資源希少個体群保護林 | ヒノキ、ミズナラ、ブナ、コウヤマキの林木遺伝資源の保存 | 入谷 (大野市) | 54.41 |
| | 檜保ブナ希少個体群保護林 | 越美山地における典型的な日本海型ブナ林 | 冠山 (池田町) | 162.12 |
| | 夜叉ヶ池ヤシャゲングロウ希少個体群保護林 | 特異な分布を示している水生昆虫の生息地 | 岩谷 (南越前町) | 16.00 |
| | 経ヶ岳イヌワシ希少個体群保護林 | 大型鳥類の生息、繁殖に必要な地域の保全 | 経ヶ岳 (大野市) | 79.28 |

緑の回廊

個々の保護林等を連結して、野生動植物の生育・生息地の拡大と相互交流を促し、保護林の働きをより高度に発揮させ、効果的に森林生態系の保護・保全を図るため、「緑の回廊」を設定しています。

| 森林計画区 | 名称 | 延長 | 面積 | 備考 |
|-------|----------|------|-----------|-----------------------------|
| 越前 | 越美山地緑の回廊 | 60km | 15,212 ha | 越美山地緑の回廊全体 66km 24,482ha |
| | 白山山系緑の回廊 | 7km | 1,338 ha | 白山山系緑の回廊全体 70km 42,867ha |

4 林産物の供給に関する事項

木材の利用の促進

大野市には、木質バイオマス発電施設が稼働しているため、民有林関係者と連携して安定的な木材の供給に努めます。



5 国有林野の活用に関する事項

保健・文化・教育的な活動への利用の推進

自然環境が優れ、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適したものと及び快適な生活環境を保全・形成する上で重要な役割を果たしている国有林野を「レクリエーションの森」として選定し、広く国民の利用に提供します。

| 種類 | 名称 | 国有林名 (市町村) | 面積 (ha) | 既存施設の概要 |
|--------------|---------------------|---------------|------------|--|
| 野外スポーツ 地域 | 鉢伏山野外 スポーツ地 域 | 鉢伏山 (南越前町) | 170.74 | ・スキーコース、リフト、遊歩 道、トイレ、町道、山頂パト ロール詰所（南越前町） |

6 国民の参加による森林の整備に関する事項

森林環境教育の推進

国民参加の森林整備を推進するため、北湯国有林に「遊々の森」を設定し、林業体験や森林教室等の体験活動のフィールドとして国有林野を提供します。

